

三 天保三辰八月

右月預解品書附

留於八木村之敷成於山行預解品書附

又

留於

八木村

一 尚文心未收日照清山水清松毛ハ勿漏留也ハ早
損ハ月石姓預解品書附ハ本村ハ中宿ハ本村
お龍主社ハ八幡ハ三預解品書成於西ハ山行預
解品書附ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附
ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附
ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附

一 尚文心未收日照清山水清松毛ハ勿漏留也ハ早

損ハ月石姓預解品書附ハ本村ハ中宿ハ本村
お龍主社ハ八幡ハ三預解品書成於西ハ山行預
解品書附ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附
ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附ハ山行預解品書附

辰八月廿八

留於

八木村

留於

八木村

留於

八木村

留於

八木村

留於
涉及所

天保三辰八月

右二付願解御届書附

沼田郡八木村五穀成就御祈祷願解之儀二付御届書附

沼田郡

八木村

一当夏以来数日^(月カ)照続出水請、稻毛ハ勿論、畠作等及早

損候二付、百姓共願之趣を以先達而御届申上候通り当村

於龍王社百八燈之立願を以五穀成就雨乞御祈祷

修行取計候処、蒙御靈驗候段、一統大悦奉存候、仍之来ル

十二日為願解於社内御湯立取計、百八燈之灯を捧ケ

申度奉存候間、此段御聞込被為置可被下候、右龍王社

之儀ハ当村虬山之中央以上二御座候故、数多之灯自然

御城下表江見へ渡り、御怪ミ候儀も難計二付、右之趣御届

奉申上候間、此段御承知被為置被遣度奉存候、仍而書附

差上申候、以上

当分庄屋

辰八月十日

文左衛門

庄屋格与頭

忠左衛門

与頭

武二郎

同

六兵衛

沼田郡

御役所

願解(がんほじき) 祈願叶つてお礼参りし、願を解くこと
出水(すい) 請 湧き水に頼る水田
百八燈 盆などで百八の燈火を捧げる火祭り
湯立(ゆだて) 巫女や神職が熱湯に笹の葉をひたして、自身や参列者にふりかけて浄め祓う神事。

虬山(あぶさん) 広島市安佐北区と安佐南区にまたがる標高五八六・四メートルの山で、現在は阿武山と書く。山頂には水神を祀る貴船神社(龍王社)が鎮座している。